

第 1 1 回全日本少年アイスホッケー選手権大会東北大会

(第 53 回東日本ジュニアアイスホッケー選手権大会 小学生の部・中学生の部)

(第 47 回 N H K 杯東北アイスホッケー選手権大会 ジュニアの部)

(第 21 回風越カップ全日本少年アイスホッケー大会東北ブロック予選会)

(第 20 回全日本少年アイスホッケー大会 (中学生の部) 東北ブロック予選会)



2 0 2 6 年 1 月 1 7 日 (土) ・ 1 8 日 (日)

福島県郡山市磐梯熱海アイスアリーナ

主 催 (公財) 日本アイスホッケー連盟

主 管 福島県アイスホッケー連盟

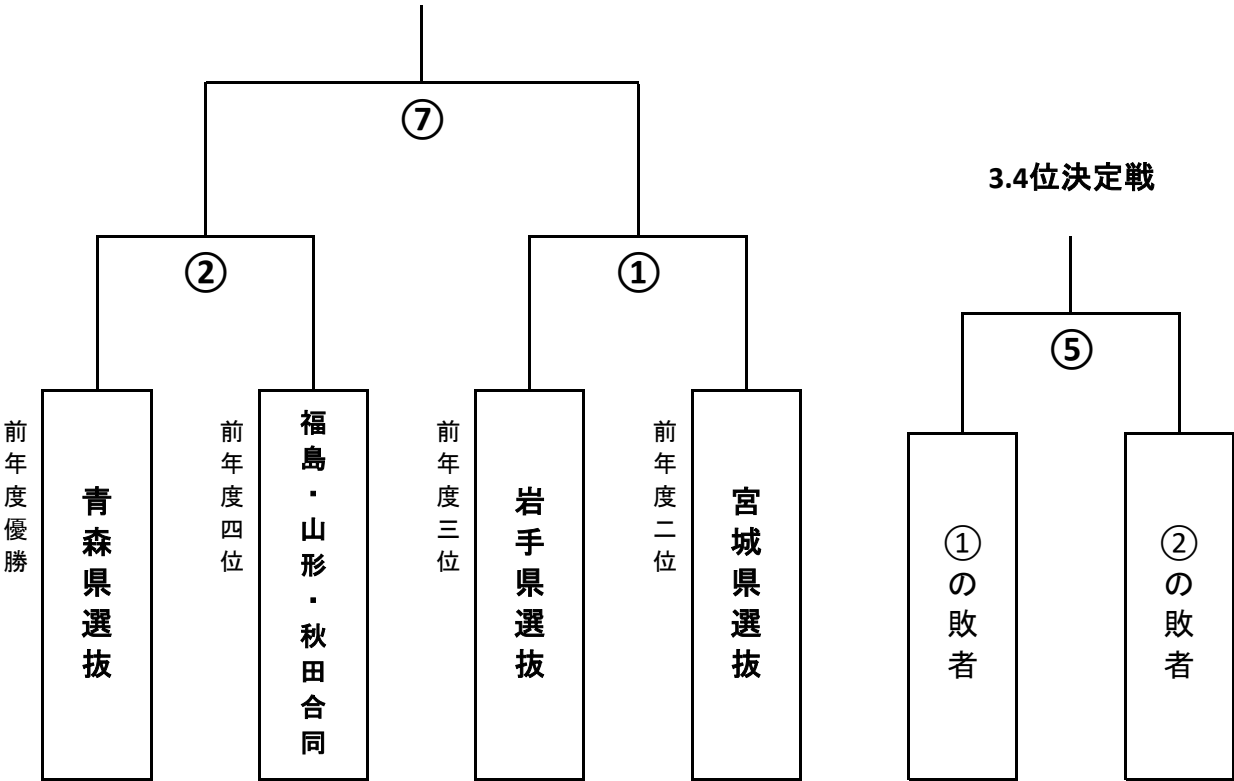
後 援 郡山市教育委員会・郡山市スポーツ協会・NHK 福島放局

【大会要項】

主催	(公財)日本アイスホッケー連盟
主管	福島県アイスホッケー連盟
後援	郡山市・郡山市スポーツ協会
期日	令和 8年1月17日(土)・18日(日)
会場	磐梯熱海アイスアリーナ 〒963-1303 福島県郡山市熱海町玉川字反田 1-1 電話:024-984-5377 FAX:024-984-5380
参加資格	(1)(公財)日本アイスホッケー連盟に登録している児童及び生徒であること。 (2)小学生は、4年生以上とし、中学生は、1～3年生とする。
参加チーム	(1)東北6県の小学生及び中学生のチーム (2)小学生の部、中学生の部とも各県1チームとする。 (3)事前協議により、複数県で構成される合同チームの参加を認める。
競技方法	(1)トーナメント方式により順位を決める。 (2)練習時間は10分間とし、各ピリオド正味15分、インターバル5分とし、 第2ピリオド終了後に整氷を行う。 (3)タイムアウトは、全試合各チーム1回(30秒)使用できるものとする。 (4)第3ピリオド終了時に同点の場合は、ただちに3名ずつのペナルティショット・シュートアウト(PSS)を行う。なお勝敗が決まらない場合は、1名ずつのタイブレイク方式によるPSSにより勝敗を決定する。 (5)10点差以上得点差がついた時点で、次のフェイスオフからランニングタイムとする。 点差が縮まった場合でもランニングタイムは継続。但し、タイムアウトの場合はアナウンスと同時に一旦止め、終了ブザーと同時にスタートする。ペナルティーは賞味とする。
競技規則	(1)(公財)日本アイスホッケー連盟競技規則及び原則としてIIHF国際競技規則による。 (2)フルフェイスマスク(あごが完全に隠れるもの)、ネックガード及びマウスピース(単色透明、肌色、白色以外のもの)を装着のこと。条件を満たさない者は試合に出場できない。) (3)ユニフォームはパンツから必ず出しタイダウストラップで密着させること。
選手・役員	(1)エントリー選手は25名以内とし、ゴールキーパー2名以内、スケーター20名以内の計22名までとし、役員は8名以内の合計30名以内とする。 (2)試合開始時に最低5名のスケーターと1名のゴールキーパー、1名の役員(ユニホーム非着用者)を揃えなければならない (3)役員を含め、試合進行のために必要な員数を揃えることができなくなった時点で没収試合とし、0-15で当該チームの敗戦とする。
表彰・閉会式	小学生の部・中学生の部各1位から3位までを表彰する。閉会式は行わない。
保険の加入	(1)選手・役員等の本大会における事故・負傷・盗難等について、主管者及び後援者、オフィシャルは一切の責任を負わない。各チーム及び個人が責任を持って予め対処すること。 (2)大会参加チームは必ずスポーツ保険等に加入すること。

第 1 1 回全日本少年アイスホッケー選手権大会東北大会

小学生の部



中学生の部

